

## 第 125 回 (2023 年 10 月度) 監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 豊島 秀一

1. 開催日時 2023 年 10 月 3 日(火) 午後 2 時 00 分～午後 5 時 00 分
2. 開催方法・場所 会場 (文京シビックセンター5 階 会議室 A) ・オンライン (ZOOM) 併用方式  
講師は会場より解説  
司会 (委員長) は会場で進行  
委員は会場で会議サポート
3. テーマ 「サステナビリティ情報開示の最新事例とその在り方」
4. 講師 久保 恵一公認会計士事務所 代表 久保 恵一氏
5. 出席者 50 名 (会場参加 12 名、オンライン参加 38 名)
6. 配布資料 (事前に参加申込者に対してメールで参加案内と講演資料を送付、  
・監査懇話会 HP に掲載)  
第 125 回監査懇話会監査技術ゼミ  
「サステナビリティ情報開示の最新事例とその在り方」  
久保恵一公認会計士事務所 代表 久保 恵一講師
7. 議事次第
  - 1) 運営委員長より開会の挨拶  
オンライン参加者の ZOOM 接続状況を確認したのち、開会挨拶と  
本日のテーマ紹介を行い、講師の久保恵一氏を紹介した。  
なお出席者の内、当委員会への初参加者は以下の通り  
(株)オハラ 監査役 原田 洋宏氏  
  
挨拶のなかでは、監査技術ゼミの趣旨について説明を行った。  
\* 監査技術ゼミは、「時宜を得たテーマを設定、その分野の外部講師をお招きして  
ゼミナールスタイルで開催していること」と、「質疑応答を通して会員・会友との  
意見交換を大切にしていること」を説明した。
  - 2) 講義  
午後 2 時 5 分より、講師が資料に沿って講演を行い、3 時に前半を終了した。  
休憩をはさみ、3 時 10 分から、後半の講演が行われ、4 時 10 分に終了した。
  - 3) 質疑応答および意見交換等  
講義終了後、4 時 15 分より出席会員会友と質疑応答ならびに意見交換が行われた。  
質疑応答および意見交換における項目は以下の通り。
    - ・ 金融機関におけるサステナビリティについて
    - ・ 人的資本問題とサステナビリティについて

- ・ 海外子会社のサステナビリティに関するデータ把握の複雑化について
- ・ 複雑化の問題の解消について
- ・ サステナビリティ情報開示の比較方法と根拠について
- ・ 開示基準の曖昧さについて
- ・ 開示に対する監査の必要性について
- ・ サステナビリティ情報におけるステークホルダーとの関係性について
- ・ お客様とサステナビリティ情報の関連について

以上について、講師から丁寧に応答された。

#### 4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答および意見交換の後、運営委員長より講師に感謝の意を表した。  
また参加者に対しアンケートへの協力要請（後日メールで発信）を行なった。

次回の監査技術ゼミ 2023年11月2日(木) 開催予定と、テーマ内容  
「ウェルビーイング経営～企業価値向上を目指す深化型健康経営～」を  
案内して、午後4時50分に閉会となった。

以上